

令和 2 年 3 月市議会定例会

上下水道局 議案説明資料 (当初予算分)

目 次

I	令和 2 年度当初予算（案）総括表	1 頁
II	有収水量と料金収入	2 頁
III	水道事業会計	
1	令和 2 年度当初予算（案）総括表	3 頁
2	令和 2 年度建設改良事業	5 頁
IV	工業用水道事業会計	
1	令和 2 年度当初予算（案）総括表	17 頁
2	令和 2 年度建設改良事業	19 頁
V	公共下水道事業会計	
1	令和 2 年度当初予算（案）総括表	23 頁
2	令和 2 年度建設改良事業	25 頁

I 令和2年度当初予算(案)総括表

(単位:千円)

		令和2年度①	令和元年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	7,879,277	7,871,651	7,626	0.10
		事業費用 B	7,321,909	7,366,700	△ 44,791	△ 0.61
		差引損益(税込) A-B	557,368	504,951	52,417	10.38
		純利益(税抜)	291,300	245,713	45,587	18.55
	資本的収支	資本の収入 C	2,516,793	1,998,356	518,437	25.94
		資本の支出 D	6,619,053	6,392,831	226,222	3.54
		差引収支(税込) C-D	△ 4,102,260	△ 4,394,475	292,215	6.65

(単位:千円)

		令和2年度①	令和元年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
工業用水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	482,536	478,099	4,437	0.93
		事業費用 B	363,594	343,751	19,843	5.77
		差引損益(税込) A-B	118,942	134,348	△ 15,406	△ 11.47
		純利益(税抜)	115,985	133,460	△ 17,475	△ 13.09
	資本的収支	資本の収入 C	10,034	10,001	33	0.33
		資本の支出 D	213,217	186,254	26,963	14.48
		差引収支(税込) C-D	△ 203,183	△ 176,253	△ 26,930	△ 15.28

(単位:千円)

		令和2年度①	令和元年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
公共下水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	16,828,930	16,975,046	△ 146,116	△ 0.86
		事業費用 B	14,897,405	14,821,115	76,290	0.51
		差引損益(税込) A-B	1,931,525	2,153,931	△ 222,406	△ 10.33
		純利益(税抜)	1,741,907	1,885,650	△ 143,743	△ 7.62
	資本的収支	資本の収入 C	8,335,741	7,915,971	419,770	5.30
		資本の支出 D	15,258,207	15,949,801	△ 691,594	△ 4.34
		差引収支(税込) C-D	△ 6,922,466	△ 8,033,830	1,111,364	13.83

Ⅱ 有収水量と料金収入

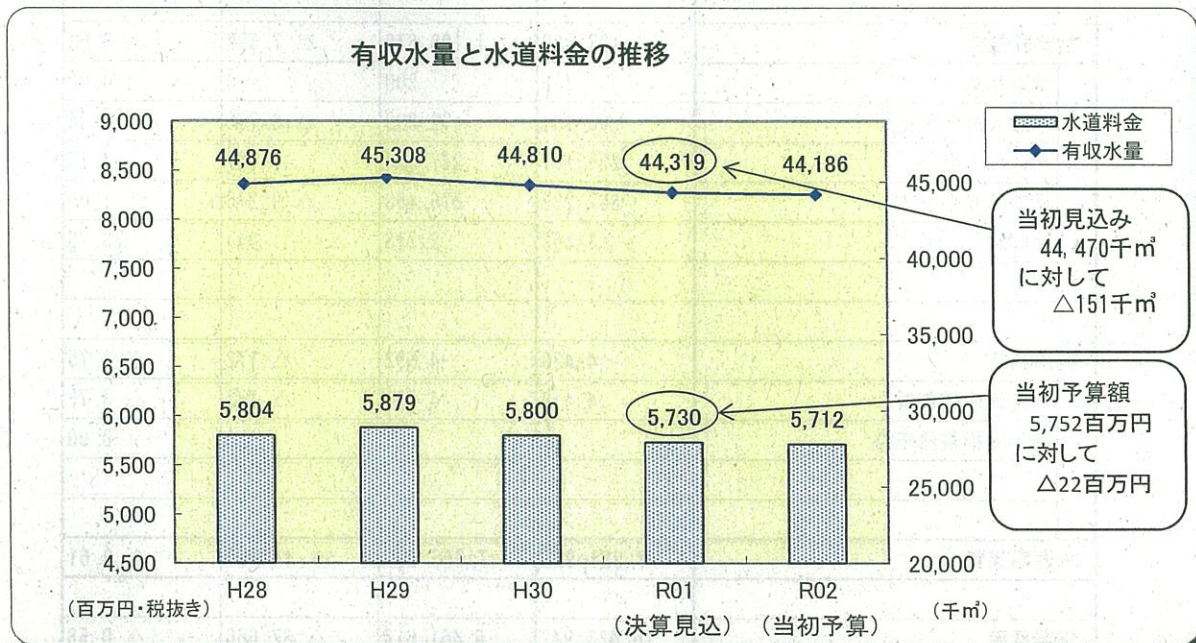
水道の有収水量及び料金については、近年は29年度の寒波や30年度の猛暑、台風などによる特殊要因があり傾向がつかみにくい状況であるが、28年度以降は、人口減による減少要因はあるものの、節水機器の普及の落ち着きなどにより、減少幅は鈍化の傾向にあると考えている。

また、下水道の有収水量と使用料については、水道と同様の減少要因があるものの、未接続世帯からの新たな接続などにより、横ばいの傾向にある。

令和2年度予算については、近年の料金の減少幅（寒波や猛暑等の特殊要因を除く）を参考に試算し、水道料金は元年度決算見込額に対し0.3%減、下水道使用料は新規接続による増も考慮し0.2%減を見込んだ。

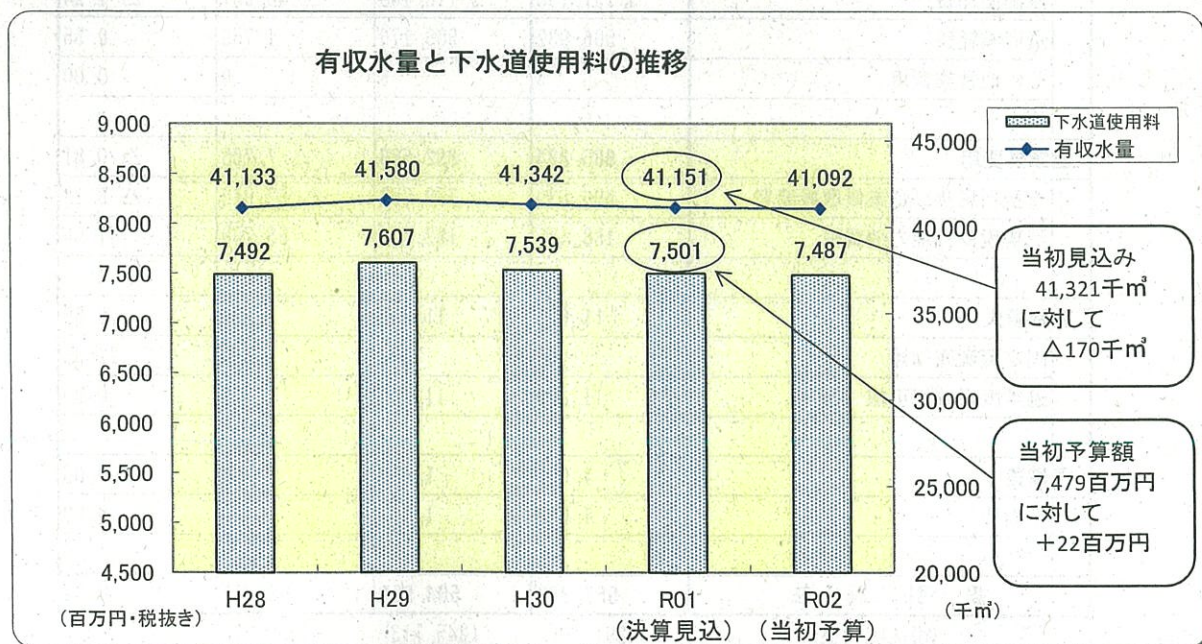
◇有収水量と水道料金の推移（令和元年度は決算見込、2年度は当初予算）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
有収水量(千 m^3)	44,876	45,308	44,810	44,319	44,186
対前年度比(%)	99.99	100.96	98.90	98.90	99.70
水道料金(税抜:千円)	5,803,736	5,879,233	5,799,937	5,730,127	5,712,000
対前年度比(%)	99.92	101.30	98.65	98.80	99.68



◇有収水量と下水道使用料の推移（令和元年度は決算見込、2年度は当初予算）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
有収水量(千 m^3)	41,133	41,580	41,342	41,151	41,092
対前年度比(%)	100.43	101.09	99.43	99.54	99.86
下水道使用料(税抜:千円)	7,491,685	7,607,177	7,538,690	7,500,865	7,487,000
対前年度比(%)	100.51	101.54	99.10	99.50	99.82



Ⅲ 水道事業会計

1 令和2年度当初予算(案)総括表

(1) 収益の収支

(単位:千円)

科 目	令和2年度 当初予算(案)①	令和元年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
水道事業収益	7,879,277	7,871,651	7,626	0.10
営業収益	6,682,777	6,667,380	15,397	0.23
給水収益	6,283,722	6,250,398	33,324	0.53
受託工事収益	14,537	80,267	△ 65,730	△ 81.89
受託事業収益	593	567	26	4.59
その他営業収益	383,925	336,148	47,777	14.21
営業外収益	1,192,080	1,199,679	△ 7,599	△ 0.63
※ 受取利息	200	200	0	0.00
一般会計負担金	66,134	72,899	△ 6,765	△ 9.28
水道加入金	255,161	247,394	7,767	3.14
長期前受金戻入	867,222	876,468	△ 9,246	△ 1.05
雑収益	3,363	2,718	645	23.73
特別利益	4,420	4,592	△ 172	△ 3.75
固定資産売却益	4,419	4,591	△ 172	△ 3.75
過年度損益修正益	1	1	0	0.00
水道事業費	7,321,909	7,366,700	△ 44,791	△ 0.61
営業費用	6,423,947	6,461,613	△ 37,666	△ 0.58
原水及び浄水費	572,780	557,972	14,808	2.65
配水及び給水費	859,783	832,024	27,759	3.34
受託工事費	21,626	87,330	△ 65,704	△ 75.24
業務費	469,898	450,347	19,551	4.34
総係費	261,730	250,579	11,151	4.45
減価償却費	3,731,193	3,778,180	△ 46,987	△ 1.24
資産減耗費	506,932	505,176	1,756	0.35
その他営業費用	5	5	0	0.00
営業外費用	885,324	892,529	△ 7,205	△ 0.81
支払利息及び企業債取扱諸費	696,839	759,753	△ 62,914	△ 8.28
消費税及び地方消費税	188,485	132,776	55,709	41.96
特別損失	11,638	11,558	80	0.69
固定資産売却損	438	358	80	22.35
過年度損益修正損	11,200	11,200	0	0.00
予備費	1,000	1,000	0	0.00
予備費	1,000	1,000	0	0.00
差 引 損 益	557,368	504,951	52,417	10.38
(税抜純利益)	(291,300)	(245,713)	(45,587)	

(2) 資本の収支

(単位：千円)

科 目	令和2年度 当初予算(案)①	令和元年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本の収入	2,516,793	1,998,356	518,437	25.94
企業債	1,914,200	1,538,000	376,200	24.46
企業債	1,914,200	1,538,000	376,200	24.46
他会計出資金	82,105	84,066	△ 1,961	△ 2.33
※ 他会計出資金	82,105	84,066	△ 1,961	△ 2.33
他会計負担金	18,481	19,359	△ 878	△ 4.54
他会計負担金	18,481	19,359	△ 878	△ 4.54
固定資産売却代金	6,764	6,997	△ 233	△ 3.33
固定資産売却代金	6,764	6,997	△ 233	△ 3.33
国庫補助金	398,280	277,330	120,950	43.61
国庫補助金	398,280	277,330	120,950	43.61
工事負担金	96,963	72,604	24,359	33.55
工事負担金	96,963	72,604	24,359	33.55
資本の支出	6,619,053	6,392,831	226,222	3.54
建設改良費	4,255,059	4,100,480	154,579	3.77
配水施設事務費	195,019	217,425	△ 22,406	△ 10.31
配水施設費	3,889,989	3,671,120	218,869	5.96
設備費	0	1,307	△ 1,307	皆減
固定資産購入費	156,156	202,580	△ 46,424	△ 22.92
建設負担金	13,895	8,048	5,847	72.65
企業債償還金	2,363,994	2,292,351	71,643	3.13
企業債償還金	2,363,994	2,292,351	71,643	3.13
差 引	△ 4,102,260	△ 4,394,475	292,215	6.65

補てん財源	4,102,260	4,394,475	△ 292,215	△ 6.65
当年度消費税及び地方消費税資本の収支調整額	313,551	311,905	1,646	0.53
過年度分損益勘定留保資金	1,001,552	1,782,162	△ 780,610	△ 43.80
当年度分損益勘定留保資金	2,787,157	2,300,408	486,749	21.16

〔参考〕

	令和2年度①	令和元年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	148,239	156,965	△ 8,726

2 令和2年度 建設改良事業

水道事業会計（建設改良費）			42億5千5百万円
	I	水道施設の耐震化	3,020,350千円
		(1) 配水幹線の整備	1,373,721千円
		(2) 配水管網の整備	212,800千円
		(3) 老朽水道管の整備	1,286,778千円
		(4) 老朽基幹施設の改良	147,051千円
	II	危機管理体制の強化	512,431千円
		(1) 防災拠点機能の整備	512,431千円
	III	水源の水質向上	120,738千円
		(1) 配水ブロックの整備	120,738千円
	IV	その他	601,540千円
		(1) 他工事関連事業	243,170千円
		(2) 人件費、事務費等	358,370千円

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

事業名		令和2年度 当初予算①	令和元年度 当初予算②	比較増減①-②
I 水道施設の耐震化		3,020,350	2,540,456	479,894
(1) 配水幹線の整備	事業費	1,373,721	1,005,455	368,266
	概要	・城南幹線(更新) 外 L=3.34Km ・横断実施設計(北部幹線、南部幹線) ・空洞調査(南部幹線)	・赤江幹線(更新) 外 L=2.57Km ・横断実施設計(南部幹線) ・閉削実施設計(北部幹線) ・空洞調査(赤江幹線、城南幹線)	
(2) 配水管網の整備	事業費	212,800	168,705	44,095
	概要	・管網整備 L=2.30Km	・管網整備 L=1.55Km	
(3) 老朽水道管の整備	事業費	1,286,778	1,240,009	46,769
	概要	・老朽ビニル管等の布設替 L=9.45Km ・老朽添架管の架替 L=0.06Km	・老朽ビニル管等の布設替 L=11.35Km ・老朽添架管更新実施設計 外	
(4) 老朽基幹施設の改良	事業費	147,051	126,287	20,764
	概要	・新流杉浄水場浸水対策 ・羽根第2水源の場内整備 外 ・上滝浄水場外施設 更新基本設計 ・下井田新水源 改良実施設計	・東部第1・第2水源の整備 外	
II 危機管理体制の強化		512,431	633,759	△ 121,328
(1) 防災拠点機能の整備	事業費	512,431	633,759	△ 121,328
	概要	・防災拠点管路の整備 L=2.23Km ・遠方監視装置の更新 ・応急給水用資材の購入	・防災拠点管路の整備 L=4.06Km ・遠方監視装置の更新 ・応急給水用資材の購入	
III 水源の水質向上		120,738	295,984	△ 175,246
(1) 配水ブロックの整備	事業費	120,738	295,984	△ 175,246
	概要	・細入配水ブロックの整備 ・西笹津加圧場の実施設計	・山田配水ブロックの整備 ・岩稻加圧場の実施設計	
IV その他		601,540	630,281	△ 28,741
(1) 他工事関連事業	事業費	243,170	210,321	32,849
	概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=3.46Km	・物件移転補償に伴う布設替 L=3.17Km	
(2) 人件費、事務費等	事業費	358,370	419,960	△ 61,590
	概要	・人件費、事務費、固定資産購入費等	・人件費、事務費、固定資産購入費等	
建設改良費 合計		4,255,059	4,100,480	154,579

水道事業会計(建設改良費)

I 水道施設の耐震化

(1) 配水幹線の整備

事業費 1,373,721 千円

配水幹線は、老朽化に伴う漏水事故が発生していることに加え、大規模地震発生時においても広い範囲に影響を及ぼすことから、配水幹線の更新及び新たな配水幹線網の整備による耐震化を進めることにより、安定給水の確保と耐震化率の向上を図ります。

令和2年度事業の概要

(ア)配水幹線の更新	1,373,721千円
・ 城南幹線、北部幹線、新水橋幹線、南部幹線	L= 3.34km
・ 横断実施設計業務委託(北部幹線、南部幹線)	1式
・ 空洞調査業務委託(南部幹線)	1式

(2) 配水管網の整備

事業費 212,800 千円

大規模地震発生時においても給水を確保するために、新たな配水管整備による配水管のループ化を推進することにより、「強靱な水道施設の構築」の確保を図ります。
また、新規給水要望に対応するための新たな配水管の整備を図ります。

令和2年度事業の概要

(ア)配水管網の整備	212,800千円
・ 配水管の新設	L= 2.30km

(3) 老朽水道管の整備

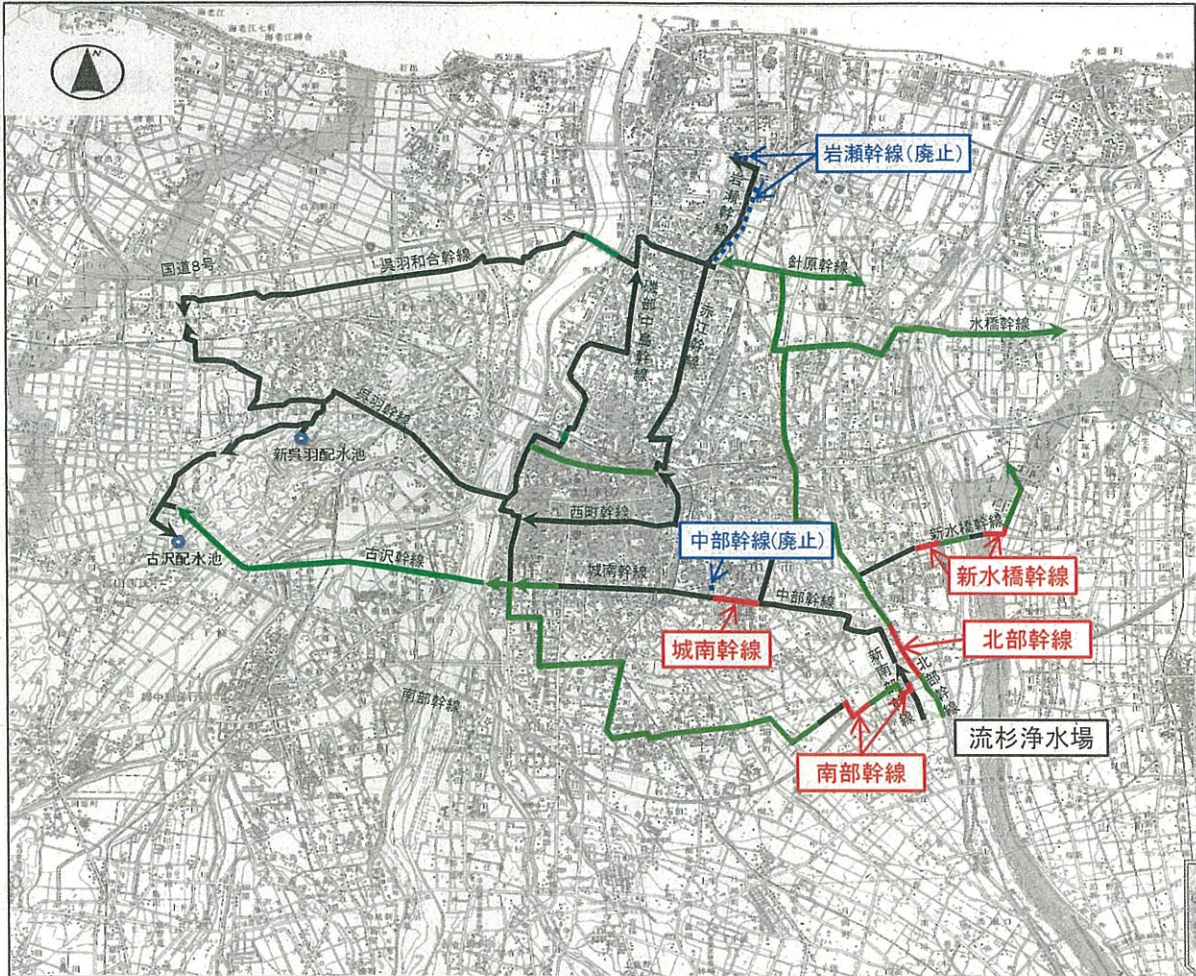
事業費 1,286,778 千円

老朽水道管について、耐用年数、布設経過年数、漏水事故発生状況等を考慮の上、計画的に更新を進めるとともに、大規模地震発生時においても給水を確保するために耐震化を推進することにより、「強靱な水道施設の構築」の確保を図ります。

令和2年度事業の概要

(ア)老朽水道管の整備	
①老朽ビニル管等の布設替	1,262,228千円
・ 老朽管布設替工事	L=9.45km
②老朽添架管の架替	24,550千円
・ 添架管架替工事	L=0.06km
・ 添架負担金(八田橋)	1式

令和2年度 配水幹線整備箇所図



凡例	
	令和元年度迄施工済区間
	令和2年度施工予定区間
	令和3年度以降施工予定区間
	令和2年度廃止予定区間

配水幹線整備の推移

(第2次富山市総合計画)

	H28実績	H29実績	H30実績	R01見込	R02計画	R03計画	R04計画	R05計画	R06計画	R07計画	R08計画
耐震管延長(km)	41.0	53.1	57.5	60.5	63.8	69.1	73.4	78.2	82.9	88.2	94.7
全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
耐震化率(%)	40.1%	51.9%	56.2%	59.1%	62.4%	67.5%	71.7%	76.4%	81.0%	86.2%	92.6%

配水幹線の施工状況



(4) 老朽基幹施設の改良

事業費 147,051 千円

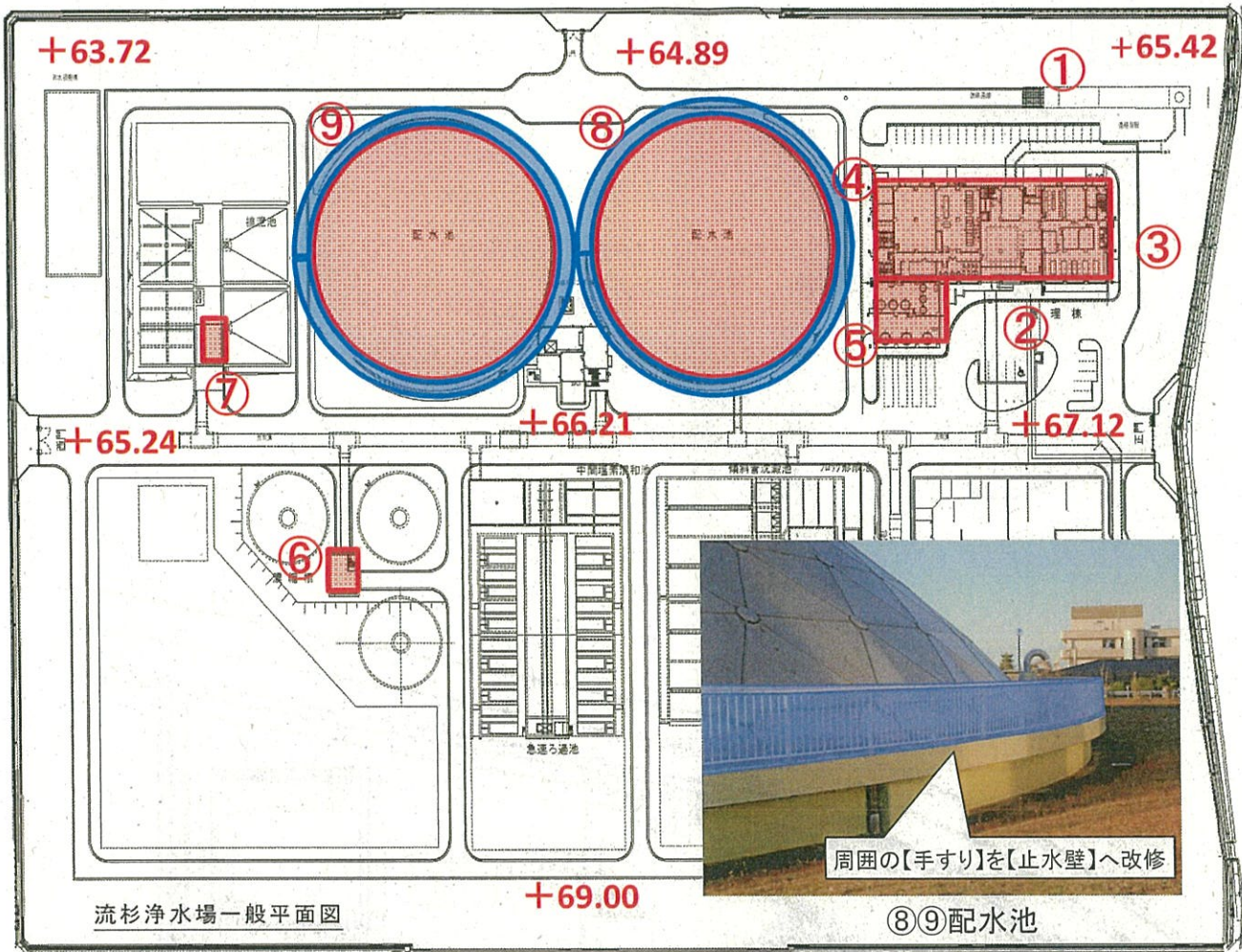
配水池や浄水場などの基幹施設は、その多くが昭和30年代から50年代にかけて建設され、大規模な更新時代を迎えています。

このため、将来の水需要を見極めた基幹施設の再構築とともに、施設の耐震化を計画的に進めることにより、災害に強く、より質の高い水道水の安定供給を図ります。

令和2年度事業の概要

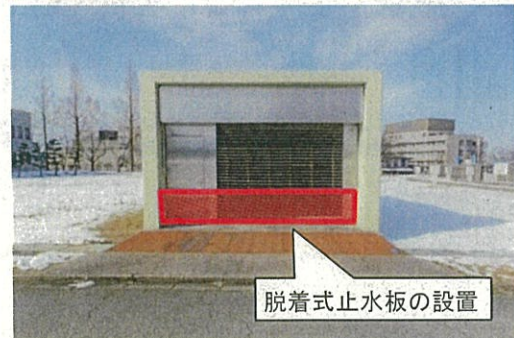
(ア)老朽基幹施設の更新	147,051千円
・ 新流杉浄水場(富山地域)	浸水対策工事
・ 羽根第2水源(婦中地域)	場内整備工事 電気設備工事
・ 上滝浄水場外施設(大山地域、富山地域)	更新基本設計業務委託
・ 下井田新第1,2,3,4水源(八尾地域)	改良実施設計業務委託

施設	地内	工種	数量	事業名
新流杉浄水場	流杉	浸水対策工事	1式	施設更新事業



1. 新設浄水場

施設名	対策箇所
連絡地下通路	①連絡通路出入り口 (新設側・既設側2か所)
管理棟	②正面玄関 ③東側入口 ④西側入口 ⑤薬品タンク搬入口
濃縮槽	⑥濃縮槽電気・ポンプ室
排水処理施設	⑦排水処理棟電気・ポンプ室
配水池	⑧No.1配水池(アルミドーム) ⑨No.2配水池(アルミドーム)



①連絡通路出入り口(2箇所)

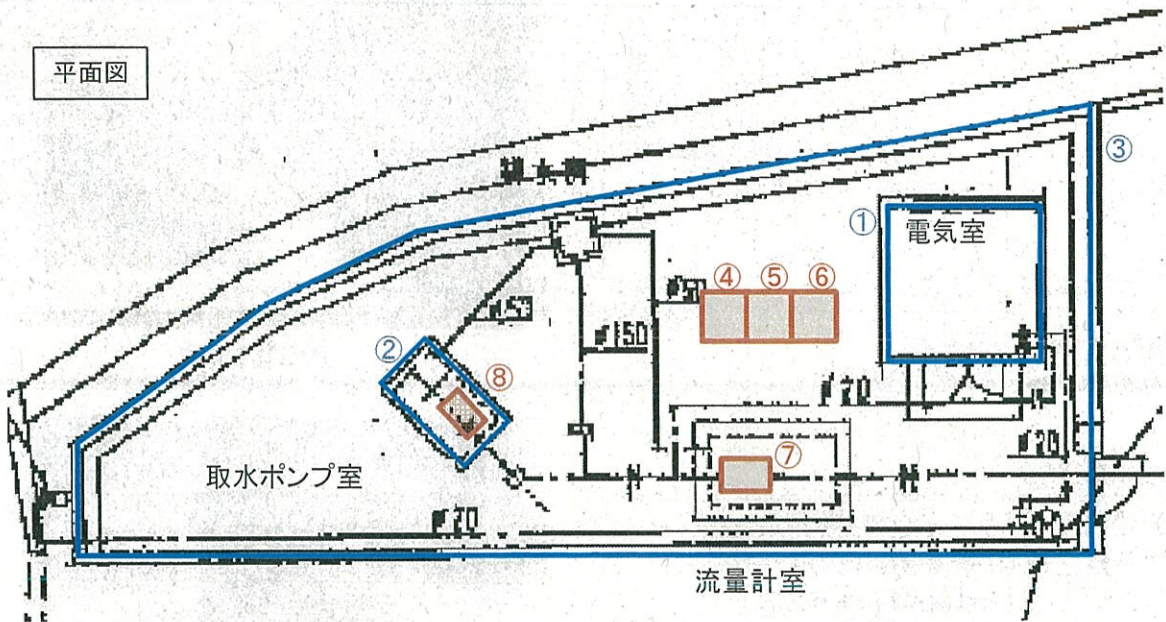


羽根第2水源施設更新工事

(ア) 老朽基幹施設の更新



平面図



① 電気室解体	場内整備工事
② ポンプピット改良	
③ フェンス設置(1.8m)	
④ 計装盤	電気設備工事
⑤ ポンプ制御盤	
⑥ 水質計器盤	
⑦ 流量計	
⑧ 水位計	



余 白

Ⅱ 危機管理体制の強化

(1) 防災拠点機能の整備

事業費 512,431 千円

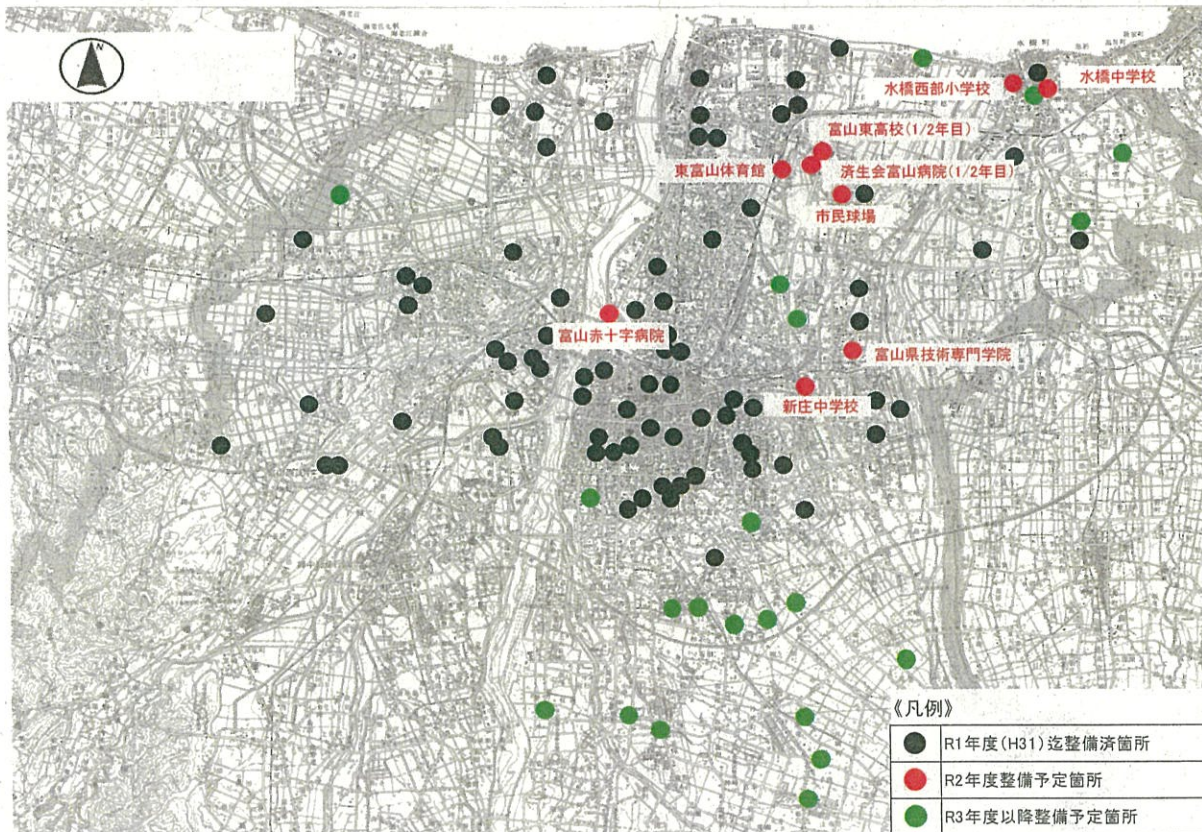
大規模地震発生時に求められる復旧活動の充実に図るため、配水幹線と避難所等の給水拠点を結ぶ管路(配水支管)の耐震化を優先的に推進するとともに、活動拠点の管理機能を充実させることにより、防災拠点の危機管理機能の強化と充実に図ります。

令和2年度事業の概要

(ア)防災拠点管路の整備	391,056千円
・ 給水拠点接続管耐震化工事(富山地域)	L=2.23km
(イ)遠方監視装置の更新	116,425千円
(八尾、婦中地域:計12施設)	
・井栗谷加圧場(八尾地域)	遠方監視装置更新工事
・城ヶ山送水ポンプ場(八尾地域)	遠方監視装置更新工事
・三ツ松配水池(八尾地域)	遠方監視装置更新工事
・平沢簡易給水施設(八尾地域)	遠方監視装置更新工事
・黒瀬谷低区送水場(八尾地域)	遠方監視装置更新工事
・黒瀬谷高区送水場(八尾地域)	遠方監視装置更新工事
・黒瀬谷高区配水場(八尾地域)	遠方監視装置更新工事
・道場浄水場(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
・友坂中継ポンプ場(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
・東部浄水場(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
・給水監視(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
・西サービスセンター(婦中地域)	遠方監視装置更新工事
(ウ)応急給水用資材の購入	4,950千円
・ 応急給水用コンテナ	1式

防災拠点機能の整備箇所図

(ア)防災拠点管路の整備



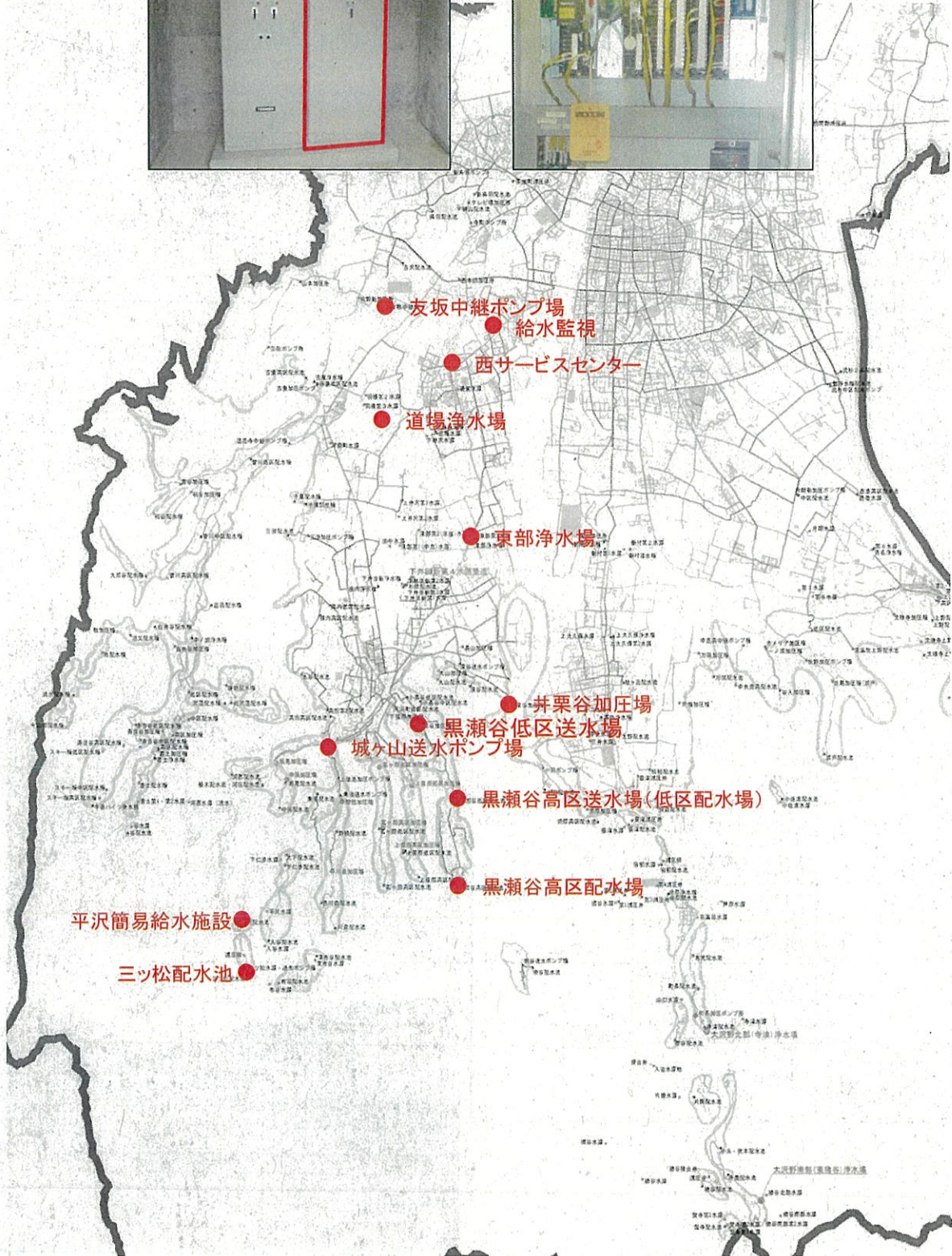
整備計画

令和元年度迄	整備済箇所	79箇所
令和2年度	新庄中学校	7箇所
	富山県技術専門学院	
	市民球場	
	富山赤十字病院	
	東富山体育館	
	水橋西部小学校	
	水橋中学校	
令和2年度	富山東高校(1/2年目)	22箇所
	済生会富山病院(1/2年目)	
令和3年度 ～令和8年度	整備予定箇所	
合計		108箇所



防災拠点機能の整備箇所図

(イ) 遠方監視装置の更新



Ⅲ 水源の水質向上 (1) 配水ブロックの整備

事業費 120,738 千円

浄水方法や配水系統をもとに大別した各配水ブロックのうち、水源の水量不足や水質悪化への対応が必要な配水ブロックについて、浄水施設能力の増強や、隣接ブロックの統合による再構築を計画的に進めることにより、安全で質の高い水道水の安定供給を図ります。

令和2年度事業の概要

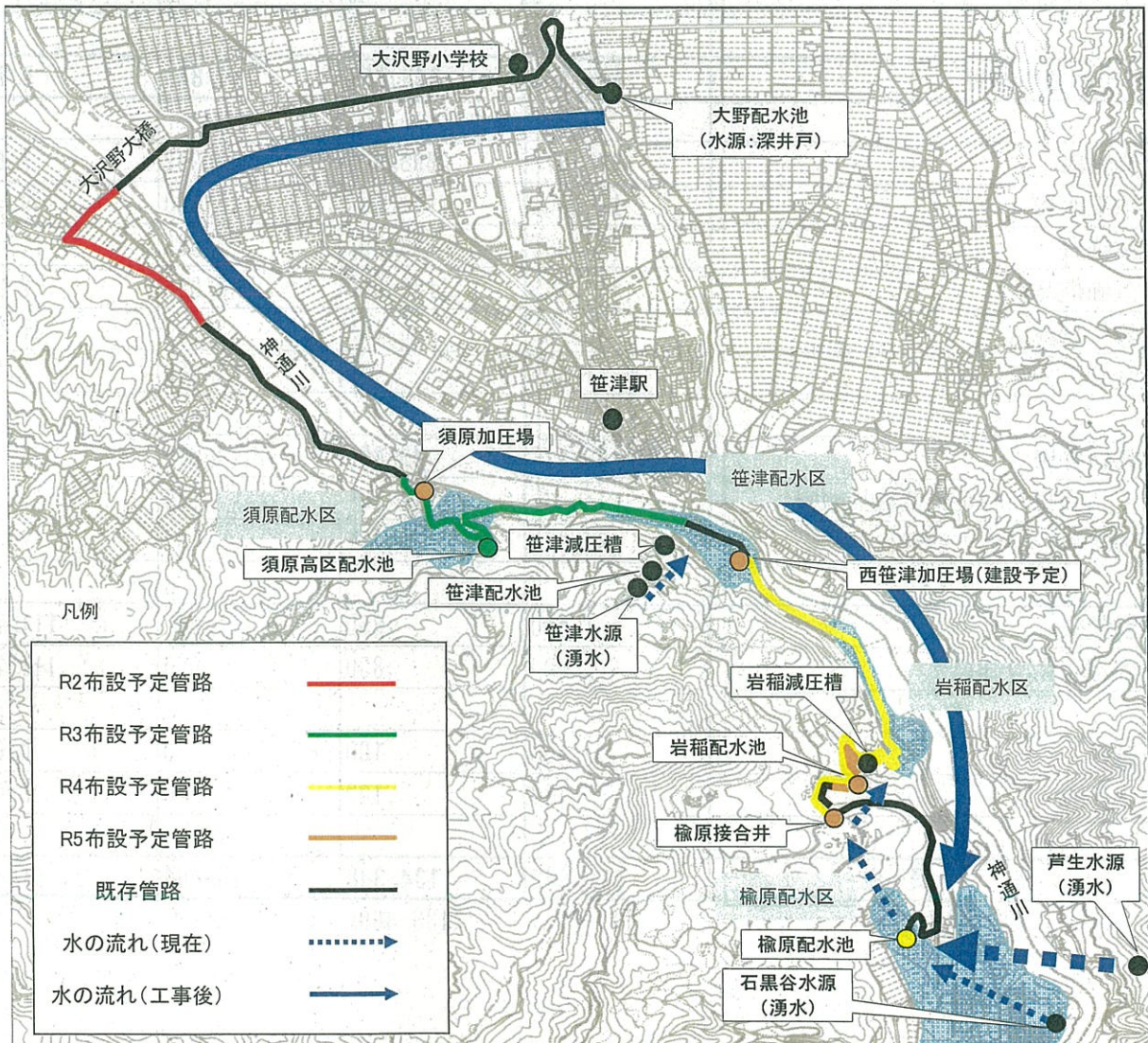
(ア) 細入配水ブロックの整備

120,738千円

- ・ 小羽地区配水管布設工事 L=0.86km
- ・ 小羽地区減圧弁設置工事 1基

- ・ 西笹津加圧場 用地測量業務委託
用地取得
実施設計業務委託

細入配水ブロック整備 計画平面図



IV 工業用水道事業会計

1 令和2年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位：千円)

科 目		令和2年度 当初予算(案)①	令和元年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
工業用水道事業収益		482,536	478,099	4,437	0.93
営業収益		453,658	449,126	4,532	1.01
	給水収益	452,008	449,126	2,882	0.64
	受託工事収益	1,650	0	1,650	皆増
営業外収益		28,878	28,973	△ 95	△ 0.33
	受取利息	200	200	0	0.00
※	一般会計負担金	0	120	△ 120	皆減
	長期前受金戻入	28,089	28,072	17	0.06
	雑収益	589	581	8	1.38
特別利益		0	0	0	
	その他特別利益	0	0	0	
工業用水道事業費		363,594	343,751	19,843	5.77
営業費用		321,877	298,945	22,932	7.67
	取配水費	155,004	141,654	13,350	9.42
	業務費	15,305	13,739	1,566	11.40
	減価償却費	139,659	136,603	3,056	2.24
	資産減耗費	10,259	6,949	3,310	47.63
	受託工事費	1,650	0	1,650	皆増
営業外費用		39,817	43,856	△ 4,039	△ 9.21
	支払利息及び企業債取扱諸費	14,947	18,399	△ 3,452	△ 18.76
	消費税及び地方消費税	24,870	25,457	△ 587	△ 2.31
特別損失		1,800	850	950	111.76
	固定資産売却損	1,800	850	950	111.76
予備費		100	100	0	0.00
	予備費	100	100	0	0.00
差 引 損 益		118,942	134,348	△ 15,406	△ 11.47
(税抜純利益)		(115,985)	(133,460)	(△ 17,475)	

(2) 資本的収支

(単位：千円)

科 目	令和2年度 当初予算(案)①	令和元年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本的収入	10,034	10,001	33	0.33
企業債	0	0	0	-
企業債	0	0	0	-
固定資産売却代金	34	1	33	3,300.00
固定資産売却代金	34	1	33	3,300.00
補助金	0	0	0	-
国庫補助金	0	0	0	-
工事負担金	10,000	10,000	0	0.00
工事負担金	10,000	10,000	0	0.00
資本的支出	213,217	186,254	26,963	14.48
建設改良費	73,959	45,376	28,583	62.99
設備費	27,982	25,376	2,606	10.27
取配水施設費	45,977	20,000	25,977	129.89
企業債償還金	139,258	140,878	△ 1,620	△ 1.15
企業債償還金	139,258	140,878	△ 1,620	△ 1.15
差 引	△ 203,183	△ 176,253	△ 26,930	△ 15.28

補てん財源	203,183	176,253	26,930	15.28
減債積立金の取崩	139,258	140,878	△ 1,620	△ 1.15
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	5,810	3,038	2,772	91.24
過年度分損益勘定留保資金	58,115	32,337	25,778	79.72

〔参考〕

	令和2年度①	令和元年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	0	120	△ 120

2 令和2年度 建設改良事業

工業用水道事業会計（建設改良費）	7千4百万円	I 流杉工業用水道事業		2,827千円
		(1) 老朽基幹施設の改良		2,827千円
		II その他		71,132千円
		(1) 他工事関連事業		43,150千円
		(2) 設備費、事務費等		27,982千円

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

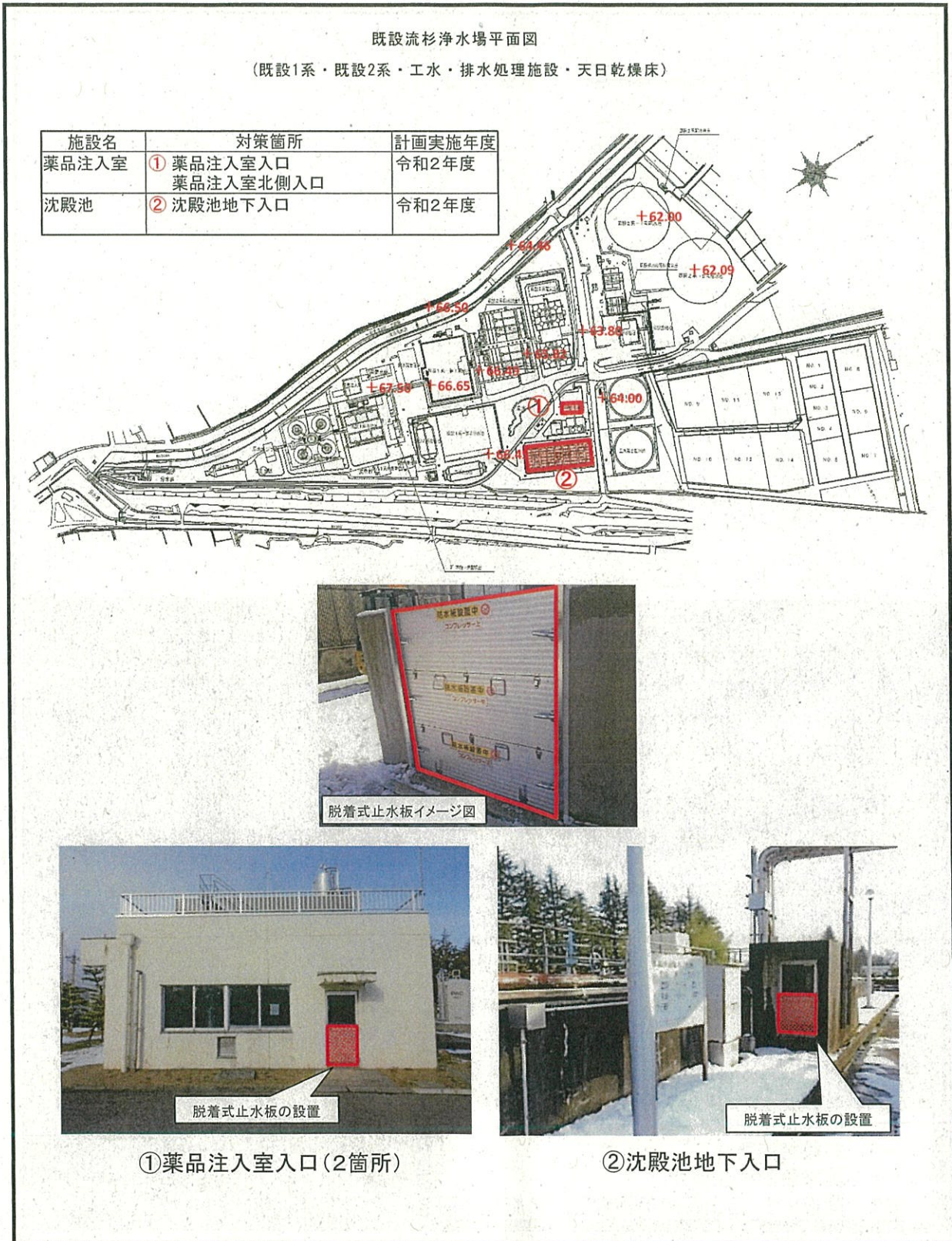
事業名		令和2年度 当初予算①	令和元年度 当初予算②	比較増減①-②	
工業用水道事業会計（建設改良費）	I 流杉工業用水道事業				
		事業費	2,827	0	2,827
	(1) 老朽基幹施設の改良	概要	・流杉浄水場浸水対策		
	II その他				
	(1) 他工事関連事業	事業費	43,150	20,000	23,150
		概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.15Km ・実施設計(あいの風とやま鉄道横断)	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.05Km	
(2) 設備費、事務費等	事業費	27,982	25,376	2,606	
	概要	・固定資産購入費、事務費等	・固定資産購入費、事務費等		
建設改良費 合計		73,959	45,376	28,583	

Ⅰ 流杉工業用水道事業

(1) 老朽基幹施設の改良

事業費 2,827 千円

近年の全国的な異常気象の頻発・激甚化による被害の教訓を踏まえて、重要度の高い工業用水道施設に対し、浸水災害の対策を実施します。

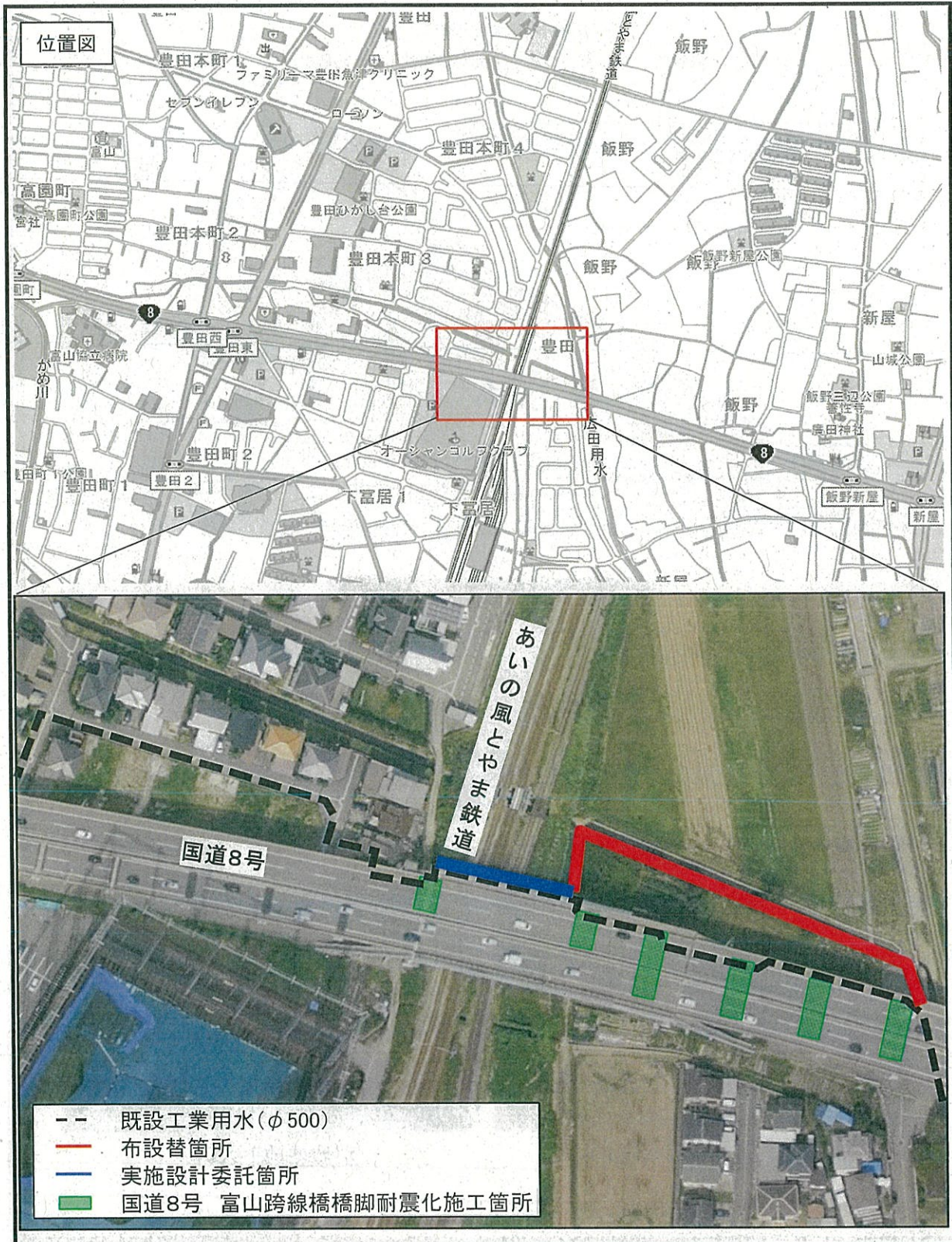


II その他

(1) 他工事関連事業

事業費 43,150 千円

国道8号豊田新屋立体事業において支障となる配水管の移転に係る実施設計及び工事を実施します。



余 白

V 公共下水道事業会計

1 令和2年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位:千円)

科 目	令和2年度 当初予算(案)①	令和元年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
下水道事業収益	16,828,930	16,975,046	△ 146,116	△ 0.86
営業収益	12,028,225	12,066,086	△ 37,861	△ 0.31
※ 下水道収益	8,235,700	8,126,531	109,169	1.34
※ 一般会計負担金	3,441,459	3,598,602	△ 157,143	△ 4.37
受託事業収益	237,066	223,698	13,368	5.98
その他営業収益	114,000	117,255	△ 3,255	△ 2.78
営業外収益	4,800,705	4,908,946	△ 108,241	△ 2.20
※ 受取利息	100	100	0	0.00
※ 一般会計負担金	1,415,324	1,509,037	△ 93,713	△ 6.21
※ 一般会計補助金	76,790	86,774	△ 9,984	△ 11.51
国庫補助金	16,500	10,000	6,500	65.00
長期前受金戻入	3,242,416	3,286,639	△ 44,223	△ 1.35
雑収益	49,575	16,396	33,179	202.36
特別利益	0	14	△ 14	皆減
固定資産売却益	0	14	△ 14	皆減
下水道事業費	14,897,405	14,821,115	76,290	0.51
営業費用	12,610,066	12,392,870	217,196	1.75
管渠費	264,500	258,224	6,276	2.43
ポンプ場費	286,025	255,450	30,575	11.97
浜黒崎浄化センター費	1,307,443	1,186,774	120,669	10.17
倉垣浄水園費	56,226	50,431	5,795	11.49
水橋浄化センター費	179,462	169,361	10,101	5.96
大沢野浄化センター費	123,562	120,387	3,175	2.64
大山処理場費	58,309	63,298	△ 4,989	△ 7.88
小見浄化センター費	13,557	15,553	△ 1,996	△ 12.83
山田浄化センター費	20,574	16,965	3,609	21.27
楡原浄化センター費	11,651	12,577	△ 926	△ 7.36
南部地区浄化センター費	9,785	11,925	△ 2,140	△ 17.95
流域下水道管理費負担金	787,882	817,269	△ 29,387	△ 3.60
水洗化促進費	24,724	25,603	△ 879	△ 3.43
排水設備指導費	30,013	30,547	△ 534	△ 1.75
業務費	238,840	228,781	10,059	4.40
総係費	192,739	173,168	19,571	11.30
減価償却費	8,695,229	8,656,421	38,808	0.45
資産減耗費	77,630	75,236	2,394	3.18
地域し尿処理施設費	9,921	9,870	51	0.52
農業集落排水事業費	219,253	212,263	6,990	3.29
林業集落排水事業費	1,641	1,667	△ 26	△ 1.56
富山八尾中核工業団地排水施設管理費	1,100	1,100	0	0.00
営業外費用	2,270,339	2,411,245	△ 140,906	△ 5.84
支払利息及び企業債取扱諸費	1,954,533	2,179,530	△ 224,997	△ 10.32
消費税及び地方消費税	311,306	229,715	81,591	35.52
雑支出	4,500	2,000	2,500	125.00
特別損失	16,000	16,000	0	0.00
過年度損益修正損	16,000	16,000	0	0.00
予備費	1,000	1,000	0	0.00
予備費	1,000	1,000	0	0.00
差引損益	1,931,525	2,153,931	△ 222,406	△ 10.33
(税抜純利益)	(1,741,907)	(1,885,650)	(△ 143,743)	

(2) 資本の収支

(単位:千円)

科 目	令和2年度 当初予算(案)①	令和元年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本の収入	8,335,741	7,915,971	419,770	5.30
企業債	4,660,948	4,103,712	557,236	13.58
企業債	2,734,600	3,295,900	△ 561,300	△ 17.03
資本費平準化債	1,000,000	0	1,000,000	皆増
借換債	926,348	807,812	118,536	14.67
国庫補助金	1,726,000	1,791,900	△ 65,900	△ 3.68
国庫補助金	1,726,000	1,791,900	△ 65,900	△ 3.68
他会計出資金	1,730,187	1,794,209	△ 64,022	△ 3.57
※ 他会計出資金	1,730,187	1,794,209	△ 64,022	△ 3.57
負担金及び分担金	213,378	221,627	△ 8,249	△ 3.72
工事負担金	122,850	121,940	910	0.75
下水道整備負担金	90,528	99,687	△ 9,159	△ 9.19
貸付金返還金	5,228	4,492	736	16.38
貸付金返還金	5,228	4,492	736	16.38
固定資産売却代金	0	31	△ 31	皆減
固定資産売却代金	0	31	△ 31	皆減
資本の支出	15,258,207	15,949,801	△ 691,594	△ 4.34
建設改良費	5,192,255	5,816,215	△ 623,960	△ 10.73
公共下水道築造事務費	148,206	174,035	△ 25,829	△ 14.84
公共下水道築造費	3,573,000	4,158,200	△ 585,200	△ 14.07
流域関連公共下水道築造事務費	6,581	8,816	△ 2,235	△ 25.35
流域関連公共下水道築造費	123,000	133,000	△ 10,000	△ 7.52
特定環境保全公共下水道築造事務費	17,762	7,286	10,476	143.78
特定環境保全公共下水道築造費	499,000	385,000	114,000	29.61
流域関連特定環境保全公共下水道築造事務費	8,450	5,041	3,409	67.63
流域関連特定環境保全公共下水道築造費	219,000	128,000	91,000	71.09
単独改良費	426,876	416,200	10,676	2.57
受益者負担金徴収事務費	16,216	15,739	477	3.03
固定資産購入費	117,664	99,398	18,266	18.38
建設負担金	36,500	285,500	△ 249,000	△ 87.22
企業債償還金	10,055,952	10,123,586	△ 67,634	△ 0.67
企業債償還金	9,129,604	9,315,774	△ 186,170	△ 2.00
企業債償還金(一括償還分)	926,348	807,812	118,536	14.67
投資	10,000	10,000	0	0.00
長期貸付金	10,000	10,000	0	0.00
差 引	△ 6,922,466	△ 8,033,830	1,111,364	13.83
補てん財源	6,922,466	8,033,830	△ 1,111,364	△ 13.83
当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額	261,458	268,281	△ 6,823	△ 2.54
過年度分損益勘定留保資金	311,659	861,871	△ 550,212	△ 63.84
当年度分損益勘定留保資金	6,349,349	6,903,678	△ 554,329	△ 8.03

〔参考〕

	令和2年度①	令和元年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	6,663,760	6,988,622	△ 324,862

2 令和2年度建設改良事業

公共下水道事業会計（建設改良費） 51億9千2百万円	I 公共下水道（污水）の整備		2,773,500千円
	（1）	下水道施設（管渠）の改築	1,303,000千円
	（2）	下水道施設（処理場）の改築	784,500千円
	（3）	資源の循環	33,000千円
	（4）	処理場の統廃合と再編	287,000千円
	（5）	下水道整備困難地区の解消	366,000千円
	II 公共下水道（雨水）の整備		1,128,000千円
	（1）	雨水幹線の整備	792,000千円
	（2）	合流式下水道の改善	336,000千円
	III 危機管理体制の強化		548,500千円
	（1）	防災対策の強化（地震対策）	548,500千円
	IV その他		742,255千円
	（1）	他工事関連事業	419,000千円
	（2）	人件費、事務費等	323,255千円

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

事業名		令和2年度 当初予算①	令和元年度 当初予算②	比較増減 ①-②	
I 公共下水道(汚水)の整備		2,773,500	3,241,200	△ 467,700	
		事業費	1,303,000	1,422,000	△ 119,000
(1) 下水道施設(管渠)の改築	概要	改築延長L=5.3km(大泉本町二丁目、牛島本町二丁目、豊田町一丁目、海岸通外)	改築延長L=6.2km(藤の木台、水橋市江、大泉町一丁目、城北町、中田一丁目、古志町一丁目外)		
(2) 下水道施設(処理場)の改築	全体	事業費	784,500	1,283,200	△ 498,700
	浜黒崎浄化センター	事業費	116,000	78,000	38,000
		概要	汚泥循環ポンプ外設備改築工事、汚泥処理施設改築実施設計業務、水処理施設改築実施設計業務	No.2井戸ポンプ電気設備改築工事、汚泥処理施設ストックマネジメント計画策定業務、汚泥処理施設実施設計業務	
	その他処理場	概要	大山水処理場外ストックマネジメント計画策定業務	大山水処理場:受変電・自家発電設備改築工事、汚泥貯留装置外機械設備改築工事、ストックマネジメント計画作成(調査)業務	
	ポンプ場	事業費	595,500	695,000	△ 99,500
	概要	岩瀬汚水中継ポンプ場改築	岩瀬汚水中継ポンプ場改築		
神左流域下水道建設負担金		36,000	285,000	△ 249,000	
(3) 資源の循環	事業費	33,000	26,000	7,000	
	概要	下水熱導入工事	下水熱導入実施設計業務		
(4) 処理場の統廃合と再編	事業費	287,000	72,000	215,000	
	概要	月岡処理分区管渠築造工事 L=900m 月岡緑町汚水中継ポンプ所築造工事 四方第一処理分区管渠築造工事 L=500m	月岡処理分区管渠築造工事 L=700m 倉垣処理区管渠実施設計業務		
(5) 下水道整備困難地区の解消	事業費	366,000	438,000	△ 72,000	
	概要	新設延長L=1,220m 公共樹設置 (婦中、八尾、大沢野地域)	新設延長L=1,700m (那智町外) 公共樹設置 (婦中、八尾、大沢野地域)		
II 公共下水道(雨水)の整備		1,128,000	1,321,000	△ 193,000	
(1) 雨水幹線の整備	事業費	792,000	651,000	141,000	
	概要	雨水幹線:L=310m 貯留池:1箇所	雨水幹線:L=330m 貯留池:1箇所		
(2) 合流式下水道の改善	事業費	336,000	670,000	△ 334,000	
	概要	管渠改築(浸水対策):L=330m	管渠改築(浸水対策):L=1,150m		
III 危機管理体制の強化		548,500	527,000	21,500	
(1) 防災対策の強化(地震対策)	事業費	548,500	527,000	21,500	
	概要	耐震化工事 下水処理場耐震診断業務	耐震化工事 下水処理場耐震診断業務		
IV その他		742,255	727,015	15,240	
(1) 他工事関連事業	事業費	419,000	416,200	2,800	
	概要	物件移転補償に伴う布設替	物件移転補償に伴う布設替		
(2) 人件費、事務費等	事業費	323,255	310,815	12,440	
	概要	人件費、事務費、固定資産購入費等	人件費、事務費、固定資産購入費等		
建設改良費 合計		5,192,255	5,816,215	△ 623,960	

公共下水道事業会計(建設改良費)

I 公共下水道(汚水)の整備

(1) 下水道施設(管渠)の改築

事業費	1,303,000 千円
(うち補助事業)	885,000 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理場へ流すために、劣化状況等の調査を行い、計画的に管渠等の改築を進めていきます。

令和2年度事業の概要

(ア)下水道管の改築

	H30年度(実績)	R1年度(見込)	R2年度
調査・計画延長	約47km	約50km	約50km
改築工事延長	6.3km	8.1km	5.3km

①調査・計画

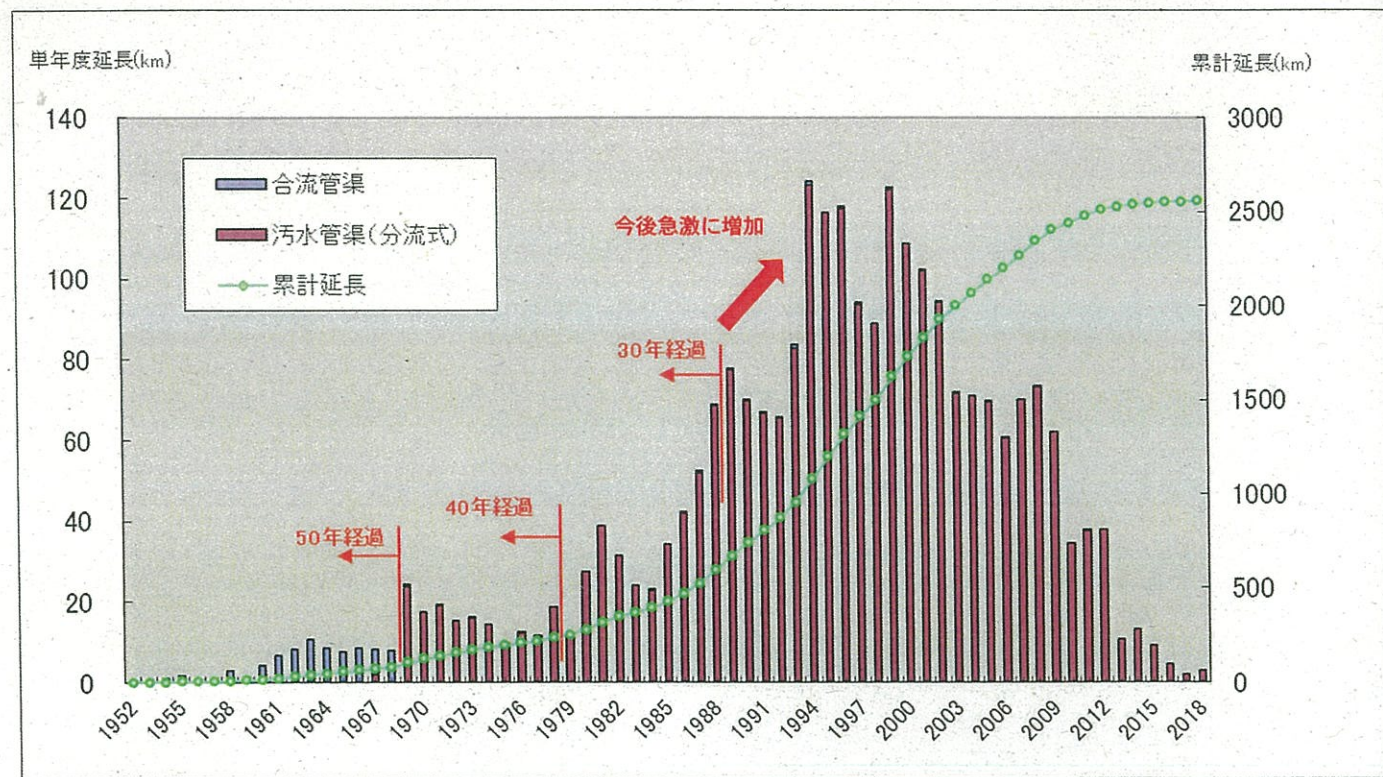
富山市下水道ストックマネジメント計画に基づき、奥田処理分区外の管渠を対象に調査を実施。

②改築工事

令和元年度に引き続き、いたち川第二処理分区、いたち川第四処理分区、豊田処理分区及び浜黒崎処理分区を対象に老朽化が著しく、改築の優先度が高い管の改築工事を実施。

老朽下水道管対策事業

1. 富山市の下水道管路布設年度 (H30 末)



コンクリート管の内訳 (H38末時点)

単位: km

経過年数	～50年	49年～40年	39年～30年	29年～20年	19年～10年	9年～1年	合計
汚水管渠(分流式)	129.5	192.9	167.5	9.6	6.0	0.0	505.4
累計延長	129.5	322.4	489.8	499.4	505.4	505.4	-
累計割合	26%	64%	97%	99%	100%	100%	-

2. 今後の老朽下水道管対策の進め方

1) 合流式下水道区域

中心市街地の「下水道浸水被害軽減総合事業」と「下水道総合地震対策事業」の両方で補助採択を受け、流下能力増強や耐震化も含めた老朽管の改築を進めていく。

2) 分流式下水道区域

下水道管は布設経過年数30年頃から道路陥没の頻度が高まる。よって対策事業は、30年以上経過した管から「下水道長寿命化支援制度」および「下水道ストックマネジメント支援制度」を活用し、テレビカメラ調査により管の劣化状況を確認し改築実施計画を策定し、補助採択を受け劣化状況の著しい老朽管路の改築を耐震化も踏まえ進めていく。

3. 今後の調査及び工事予定

富山市ストックマネジメント計画に基づき、布設経過年数や管種による劣化の進み具合に加え、機能不全に陥った場合の社会的影響度を考慮し、重要と判断された下水道管の調査を行う。

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	計	
調査・点検	延長(KM)	3.7	19.0	22.5	49.0	34.2	24.8	58.4	60.9	47.1	50	50	-
	事業費(百万円)	14	74	62	133	105	73	191	178	132	199	200	-
	累計延長(KM)	3.7	22.8	45.3	94.3	128.5	153.3	211.7	272.6	319.7	369.7	419.7	(272.6) 419.7
	累計事業費(百万円)	14	88	150	283	388	461	652	830	961	1,160	1,360	(830) 1,360
工事 (設計・補償金)	延長(KM)	0	0	0.8	1.9	1.7	1.6	2.4	2.2	6.3	8.1	5.3	-
	事業費(百万円)	0	0	94	235	261	335	402	617	1,116	1,307	1,051	-
	累計延長(KM)	0.0	0.0	0.8	2.7	4.3	5.9	8.3	10.5	16.8	24.9	30.2	(24.9) 30.2
全体事業費	老朽管事業費(百万円)	14	74	156	368	366	408	593	795	1,247	1,506	1,251	-
	累計(百万円)	14	88	244	612	978	1,386	1,979	2,774	4,021	5,527	6,778	6,778

4. 施工実績

調査・計画

調査年度	処理分区及び団地名	調査延長(km)	健全度 I, II 延長(km)	健全度 I, II 割合
H22	浜黒崎処理分区(田畑新町)	3.7	0.5	13.0%
H23	熊野処理分区(若竹町)	5.1	4.3	84.9%
H23	水橋第1処理分区(水橋花の井町)	2.4	1.5	61.5%
H23	豊田処理分区(米田すずかけ台)	3.3	0.1	3.7%
H23	向新庄処理分区(藤木新町)	1.9	0.5	26.1%
H23	月岡処理分区(月見町)	6.3	0.1	1.6%
H24	水橋第1処理分区(水橋中新町)	3.7	0.0	0.7%
H24	富居処理分区(千成町)	2.2	0.2	10.3%
H24.25	いたち川第3処理分区	60.4	3.0	5.0%
H25	向新庄処理分区(藤の木園町)	2.3	0.1	4.3%
H25	富居処理分区(上富居新町)	1.5	0.1	6.7%
H25	不二越処理分区(向陽台)	1.5	0.3	21.0%
H26.27	いたち川第2処理分区	54.7	9.3	16.9%
H27	水橋第2処理分区(水橋東部)	4.3	1.3	30.2%
H28	いたち川第4処理分区	12.0	1.1	9.5%
H28	富居処理分区(綾田)	1.6	0.3	19.6%
H28	岩瀬処理分区	4.8	0.2	5.0%
H28	豊田処理分区	40.0	3.8	9.4%
H29	豊田処理分区	33.7	2.7	8.0%
H29	向新庄処理分区(藤の木台)	2.8	0.5	17.9%
H29	浜黒崎処理分区	24.4	2.9	11.7%
H30	岩瀬処理分区	20.5	0.2	1.2%
H30	黒崎岩瀬幹線外	26.6	1.0	3.9%
R01	岩瀬処理分区	50.0	計画未策定	-
調査済み延長合計		369.7	-	-
計画策定済み延長合計		319.7	34.2	10.7%

工事

処理分区及び団地	H30まで 施工済延長 (km)	R01 施工見込延長 (km)	R02 施工予定延長 (km)
浜黒崎処理分区(田畑新町)	0.8	-	-
熊野処理分区(若竹町)	5.1	-	-
水橋第1処理分区(水橋花の井町)	1.7	-	-
豊田処理分区(米田すずかけ台)	0.1	-	-
向新庄処理分区(藤木新町)	0.5	-	-
月岡処理分区(月見町)	0.1	-	-
水橋第1処理分区(水橋中新町)	0.0	-	-
富居処理分区(千成町)	1.4	-	-
いたち川第3処理分区	1.7	-	-
向新庄処理分区(藤の木園町)	0.3	-	-
いたち川第2処理分区	2.2	4.4	2.7
水橋第2処理分区(水橋東部)	0.8	0.4	-
いたち川第4処理分区	0.6	0.5	0.2
富居処理分区(綾田)	0.3	-	-
岩瀬処理分区	0.2	-	-
豊田処理分区	1.0	0.8	1.1
向新庄処理分区(藤の木台)	-	0.5	-
浜黒崎処理分区	-	1.5	1.3
計	16.8	8.1	5.3

富山市公共下水道施工予定箇所図

(汚 水)

管渠新設 (流特)
 四方第一処理分区 つばめ野二丁目地区 (φ350) L=500m

地震対策 (公共)
 第一次緊急通行確保路線 管口耐震化 N=6箇所
 人孔耐震化 N=35箇所

管渠改築 (特環)
 浜黒崎処理分区 海岸通地区 (φ200~300) L=1,300m

管渠改築 (公共)
 豊田処理分区 豊田町一丁目地区 (φ250) L=1,100m

管渠改築 (公共)
 いたち川第四処理分区 牛島本町二丁目地区 (φ1,000) L=240m
 資源循環 (公共)
 いたち川第四処理分区 下水熱導入工事 L=360m

管渠改築 (公共)
 いたち川第二処理分区 大泉本町二丁目地区 (φ250) L=2,670m

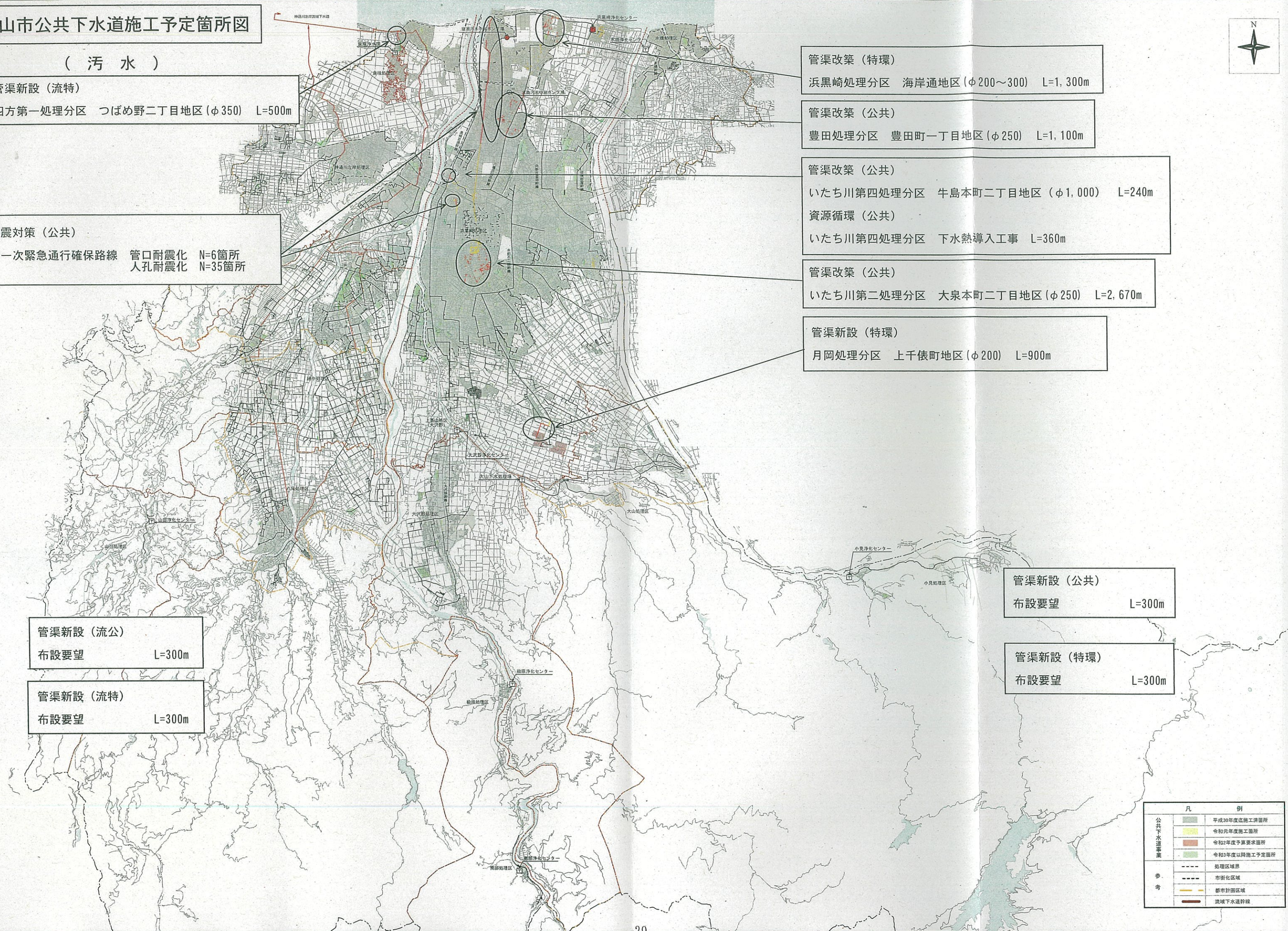
管渠新設 (特環)
 月岡処理分区 上千俵町地区 (φ200) L=900m

管渠新設 (流公)
 布設要望 L=300m

管渠新設 (流特)
 布設要望 L=300m

管渠新設 (公共)
 布設要望 L=300m

管渠新設 (特環)
 布設要望 L=300m



凡 例	
公共 下 水 道 事 業	平成30年度施工箇所
	令和元年度施工箇所
	令和2年度予算要求箇所
	令和3年度以降施工予定箇所
参 考	処理区域界
	市街化区域
	都市計画区域
	流域下水道幹線

I 公共下水道(汚水)の整備

(2) 下水道施設(処理場)の改築

事業費 784,500 千円

(うち補助事業 740,500 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理するため、施設の老朽度や将来の普及率を勘案しながら、計画的に施設の改築や増設を行います。

令和2年度事業の概要

(ア) 下水処理場の改築

① 浜黒崎浄化センター

116,000 千円

- ・汚泥循環ポンプ外設備改築工事
- ・汚泥処理施設改築実施設計業務
- ・水処理施設改築実施設計業務

② 大山下水処理場

37,000 千円

- ・大山下水処理場外ストックマネジメント計画策定業務

③ 神通川左岸流域下水道建設負担金

36,000 千円

- ・幹線管渠耐震化工事
- ・神通川左岸浄化センター耐震化工事

(イ)ポンプ場の改築

595,500 千円

① 岩瀬汚水中継ポンプ場

・沈砂池・汚水ポンプ設備改築(その3)工事(継続 R1～R2:2年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R1年度	R2年度	合計
事業費	46,000	109,000	155,000

・受変電・自家発電設備改築工事(継続 R1～R2:2年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R1年度	R2年度	合計
事業費	297,000	321,000	618,000

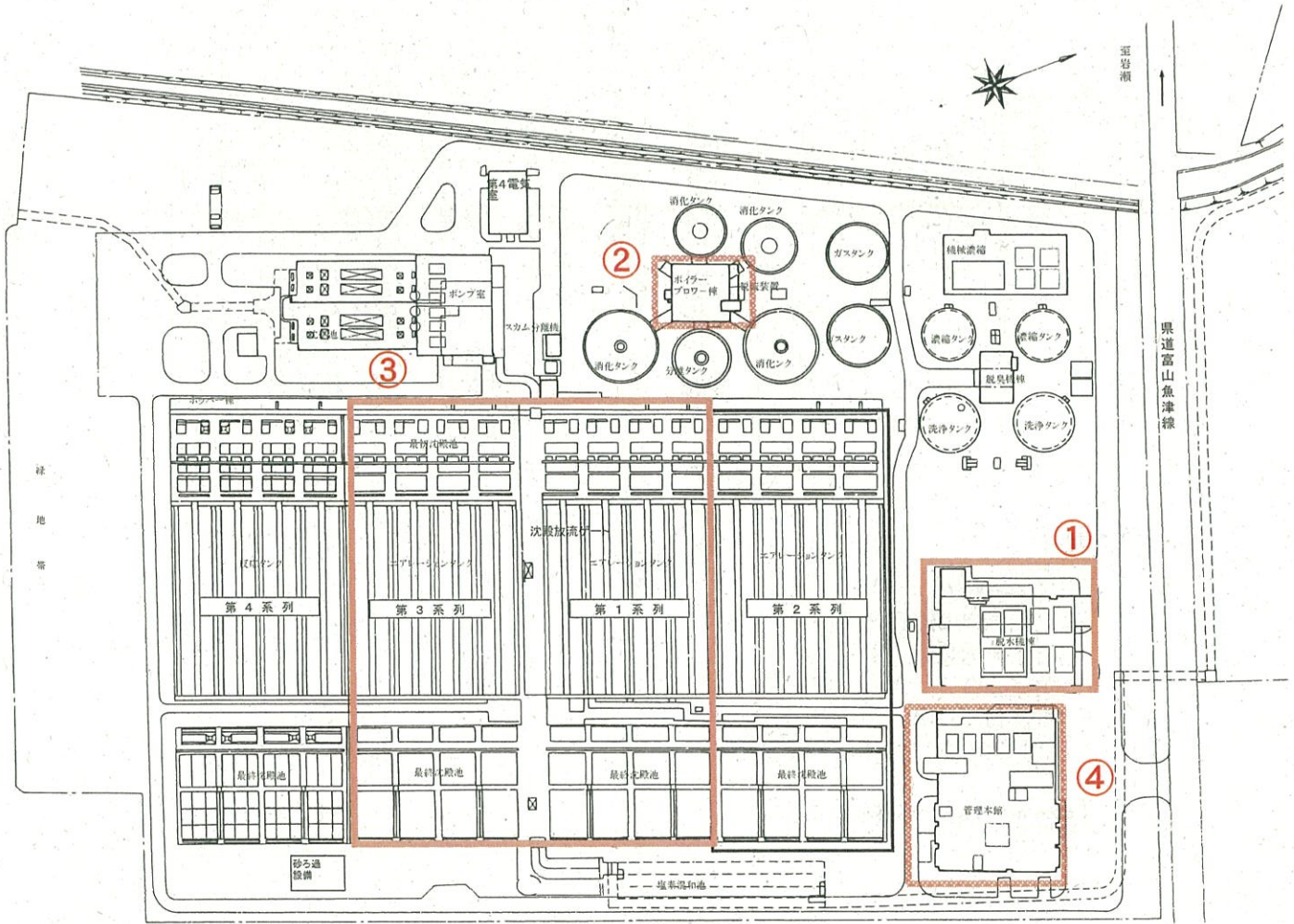
・防食(その2)・建築仕上・付帯設備更新工事(継続 R1～R3:2年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R1年度	R2年度	R3年度	合計
事業費	7,000	44,500	80,000	131,500

・建築関連改築工事

浜黒崎浄化センター計画図



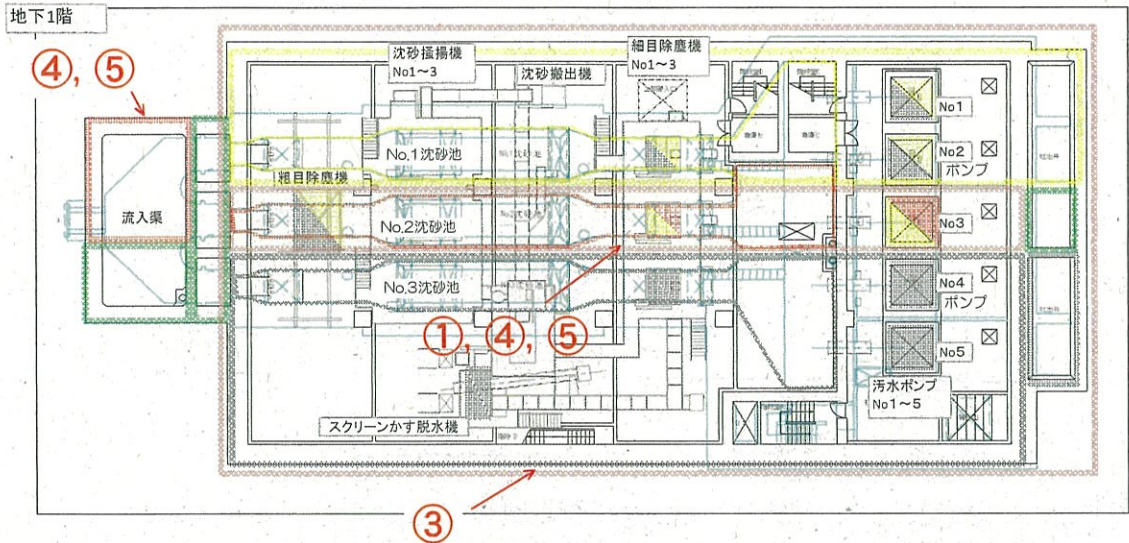
□資源循環・防災対策の強化

- ① 汚泥処理施設改築実施設計業務委託
- ② 汚泥循環ポンプ外設備改築工事
- ③ 水処理施設改築実施設計業務委託
- ④ 管理本館耐震化工事委託

凡 例

	平成30年度施工箇所
	令和元年度施工予定箇所
	令和2年度施工予定箇所
	令和3年度施工予定箇所
	令和4年度以降施工予定箇所

岩瀬汚水中継ポンプ場 計画図



電気設備

- ② 受変電設備
 - 制御計装用電源設備
 - 自家発電設備
 - 負荷設備
 - 監視制御設備
 - 計測設備
- ① 沈砂池・汚水ポンプ設備改築(その3)工事の範囲に合わせ更新 (R1~R2)

- 設備改築・防災対策の強化
- ① 沈砂池・汚水ポンプ設備改築(その3)工事委託 (R1, R2継続)
 - ② 受変電・自家発電設備改築工事委託 (R1, R2継続)
 - ③ 建築関連改築工事委託
 - ④ 防食(その2)・建築仕上・付帯設備更新工事委託 (R1, R2, R3継続)
 - ⑤ 耐震補強(その2)工事委託 (R1, R2, R3継続)

凡 例	
	平成30年度施工箇所
	令和元年度施工予定箇所
	令和2年度施工予定箇所
	令和3年度施工予定箇所

I 公共下水道(汚水)の整備

(3) 資源の循環

事業費	33,000 千円
(うち補助事業)	33,000 千円)

下水管渠を流れる汚水の熱エネルギーの活用に向けた工事を進めています。

令和2年度事業の概要

(ア)下水熱の活用

- ・いたち川第四処理分区 下水熱導入工事

(4) 処理場の統廃合と再編

事業費	287,000 千円
(うち補助事業)	282,000 千円)

将来にわたり安定的なサービスを提供していくため、公共下水道や地域し尿処理施設等の施設の統合を進めています。

令和2年度事業の概要

(ア)処理場の統廃合

- ・月岡処理分区上千俵町地区管渠築造工事 900m
- ・月岡緑町汚水中継ポンプ所築造工事
- ・四方第一処理分区つばめ野二丁目地区管渠築造工事 500m

(5) 下水道整備困難地区の解消

事業費	366,000 千円
(うち補助事業)	35,000 千円)

生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るために、整備困難地区の解消や開発等に伴う新たな下水道の整備を計画的に行います。

令和2年度事業の概要

(ア)未整備・整備困難地区の解消

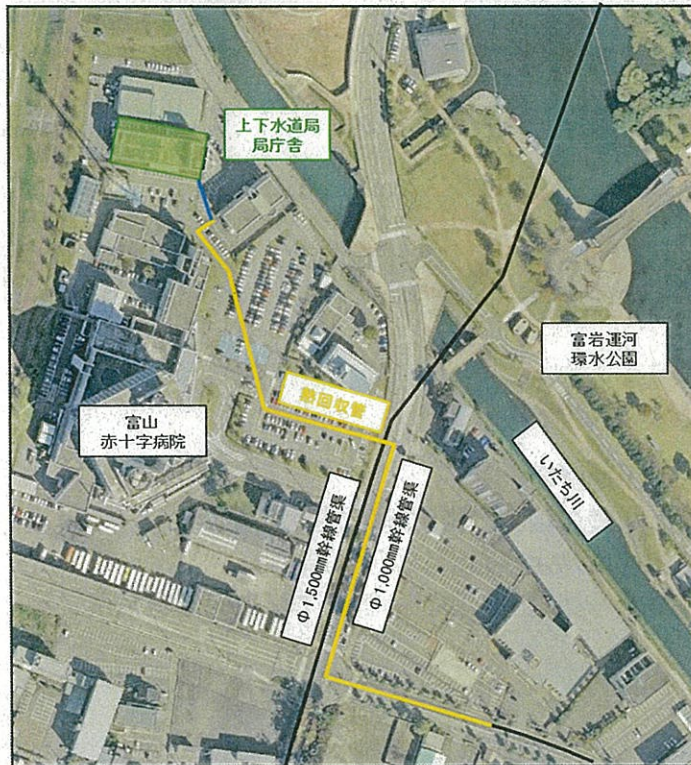
- ・水落処理分区田畑地区水管橋築造工事 20m
- ・布設要望地区下水管布設工事 1,200m

いたち川第四処理分区下水熱導入工事について

【業務概要】

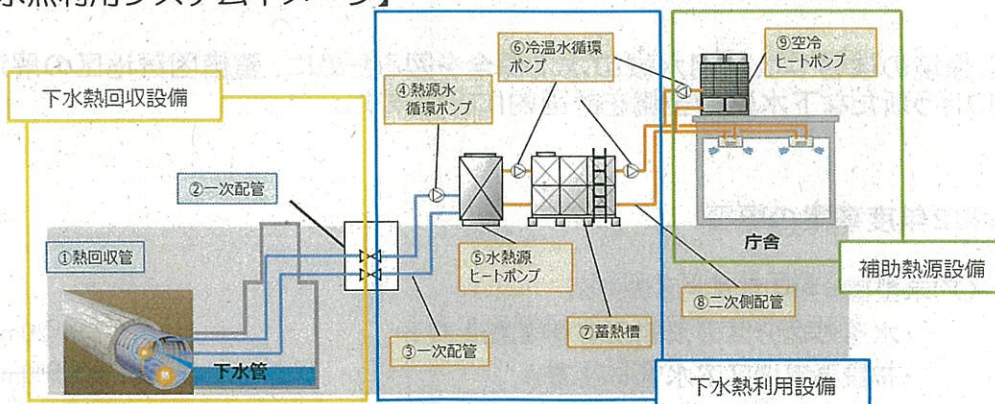
未利用エネルギーである下水熱を上下水道局庁舎における冷暖房に有効活用するため、平成28年度より基礎調査等を実施し、事業採算性が確認できたことから、昨年度の実施設計の成果に基づき、導入に向けた工事を行うもの。

年度	事業内容
平成28年度	基礎調査（流量、温度、夾雑物調査）
平成29年度	事業採算性検討（システムの概略検討及び選定）
平成30年度	基本設計（機器の詳細な仕様の検討、埋設物調査、概略図面の作成）
令和元年度	実施設計（発注用図面の作成、数量計算書の作成）
令和2年度	工事（下水熱回収設備）
令和3年度	工事（下水熱利用設備類）
令和4年度	供用開始



導入位置図

【下水熱利用システムイメージ】



下水熱回収設備	下水熱利用設備	補助熱源設備
社会資本整備総合交付金 (基幹事業) (補助率 1/2)	社会資本整備総合交付金 (効果促進事業) (補助率 1/2)	単独事業費

II 公共下水道(雨水)の整備

(1) 雨水幹線の整備

事業費	792,000 千円
(うち補助事業)	737,000 千円)

過去の浸水履歴をもとに、浸水の危険性・浸水対策の効果等を整理し、計画的に雨水幹線等を整備することにより、浸水被害の低減を図ります。

令和2年度事業の概要

(ア)雨水幹線等の整備

	H30年度(実績)	R1年度(見込)	R2年度
管渠施工延長	850m	310m	310m
貯留施設整備数	0箇所	2箇所	1箇所
整備面積	21ha	20ha	4ha
都市浸水対策達成率	76.9%	77.1%	77.2%

(参考)全国の都市浸水対策達成率(平成30年度末)

全国 都市浸水対策達成率	約59%
-----------------	------

※ 都市浸水対策達成率:大雨に対して安全である地区の面積の割合

①雨水管渠

・西宮排水区新川雨水幹線築造工事	150m
・蓮町第二排水区米田町一丁目地区浸水対策工事	120m
・大沢野東排水区大沢野東第1雨水幹線築造工事	40m

②雨水貯留施設

・経堂排水区長江東町第2貯留池築造工事(継続R2~R3:1年目) V=1,400m³

継続事業費

(単位:千円)

	R2年度	R3年度	合計
事業費	297,000	263,000	560,000

II 公共下水道(雨水)の整備

(2) 合流式下水道の改善

事業費 336,000 千円
うち補助事業 188,000 千円

合流式下水道区域の浸水被害の軽減を図るため、排水能力の向上を目的とした管渠等の改築を計画的に実施します。

令和2年度事業の概要

(ア)合流式下水道の改善

① 浸水対策

331,000 千円

	H30年度(実績)	R1年度(見込)	R2年度
浸水対策 工事延長	805m	1,150m	330m

松川第二排水区山王町地区浸水対策工事
松川第一排水区浸水対策基本設計業務

330m

② 水質調査

5,000 千円

合流式下水道雨天時放流水現況調査業務

富山市公共下水道施工予定箇所図

(雨 水)



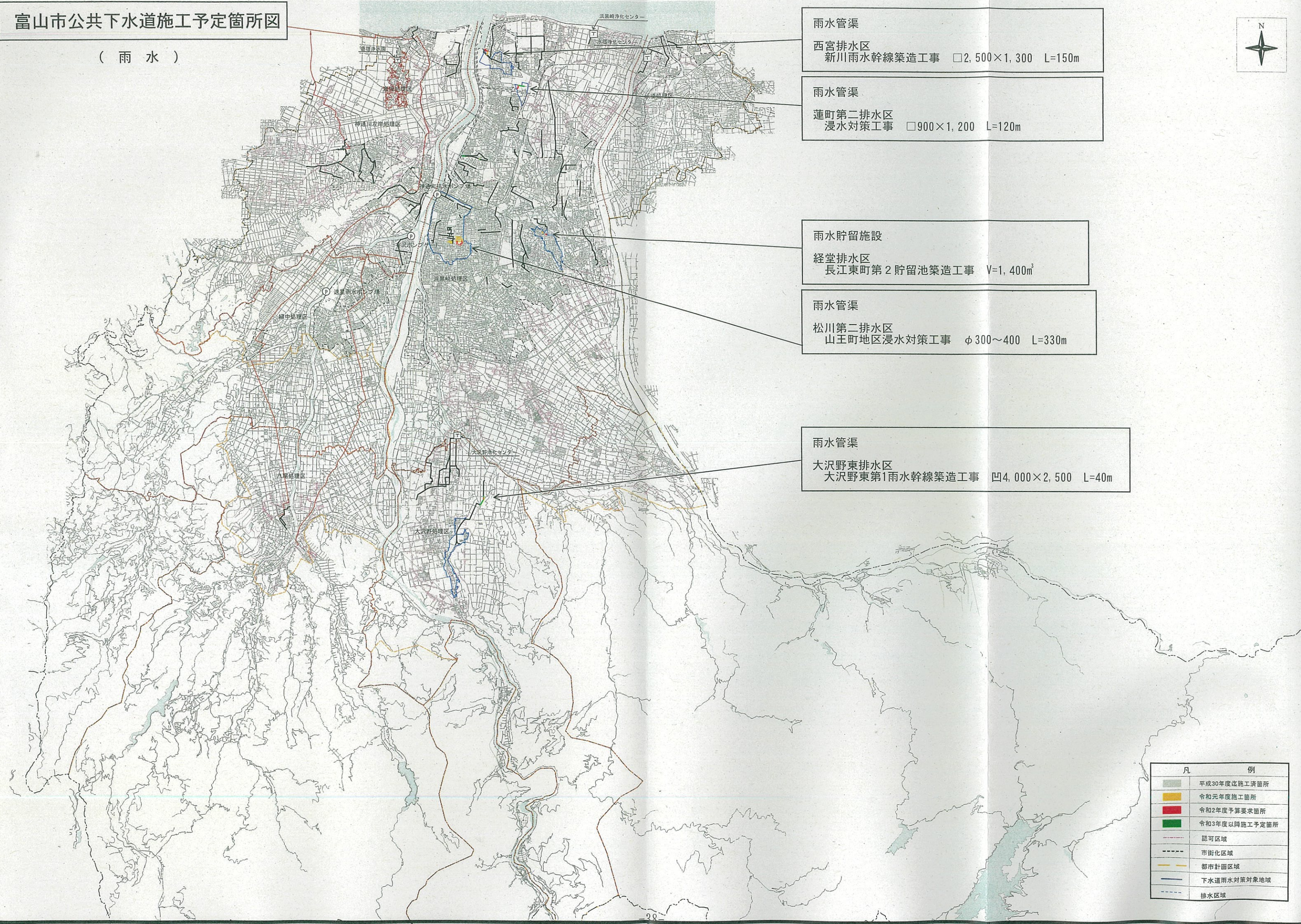
雨水管渠
西宮排水区
新川雨水幹線築造工事 □2,500×1,300 L=150m

雨水管渠
蓮町第二排水区
浸水対策工事 □900×1,200 L=120m

雨水貯留施設
経堂排水区
長江東町第2貯留池築造工事 V=1,400^m

雨水管渠
松川第二排水区
山王町地区浸水対策工事 φ300~400 L=330m

雨水管渠
大沢野東排水区
大沢野東第1雨水幹線築造工事 凹4,000×2,500 L=40m



凡	例
	平成30年度迄施工済箇所
	令和元年度施工箇所
	令和2年度予算要求箇所
	令和3年度以降施工予定箇所
	認可区域
	市街化区域
	都市計画区域
	下水道雨水対策対象地域
	排水区域

Ⅲ 危機管理体制の強化

(1) 防災対策の強化(地震対策)

事業費	548,500 千円
(うち補助事業)	545,500 千円)

自然災害や事故などの危機発生に対して、迅速かつ的確に対応していくため、危機管理体制を整備し、被害の発生防止及び軽減を目指します。防災対策の強化として、地震時における下水道施設の被害を軽減するため、下水道施設の耐震診断や耐震化工事を行います。

令和2年度事業の概要

(ア)下水道施設の耐震化 548,500 千円

・岩瀬污水中継ポンプ場耐震補強(その2)工事(継続R1～R3:2年目)

継続事業費 (単位:千円)

	R1年度	R2年度	R3年度	合計
事業費	115,000	138,500	95,000	348,500

- ・松川処理分区駅前幹線管口耐震化工事 管口耐震化 6箇所
- ・富山公共下水道人孔耐震化工事 人孔耐震化 35箇所
- ・浜黒崎浄化センター管理本館耐震化工事
- ・松川処理分区管路施設耐震化診断業務
- ・浜黒崎処理区管路施設耐震化実施設計業務
- ・浜黒崎浄化センター汚泥処理施設耐震診断業務
- ・大山水処理場揚水施設耐震実施設計業務
- ・小見浄化センター耐震診断業務
- ・山田浄化センター耐震診断業務